

梅雨入り間近です。気温変化が大きい季節ですから、体調管理には十分留意してください。今月は保護者面談もあります。保護者の方と進路についてじっくりと話し合う良い機会だと思います。自分を見つめ直し、保護者の方の意見にもしっかりと耳を傾けて意思の疎通を図って欲しいと思います。

## ①【今日の進路講演会】

### 『AIが大学入試を突破する時代の社会変化』

国立情報学研究所・社会共有知研究センター センター長 新井 紀子 氏

いよいよ今日の午後、「新井 紀子」先生が来校され、進路講演会が行われます。今日の講演を迎えるにあたって、いま一度、新井先生を簡単にご紹介し、講演への期待を高めたいと思います。

新井先生は東京都ご出身で、一橋大学 法学部に入学されましたが、大学の数学の授業で、高校まで嫌いだった数学の面白さに目覚め、大学4年の時に、数学を学ぶために、イリノイ大学に留学、卒業されました。その後さらに数学の研究を続けられ、イリノイ大学大学院を経て、東京工業大学より理学博士を取得されました。

その後、教育機関向けのコンテンツマネージメントシステム NetCommons や、研究者情報システム researchmap の研究開発に取り組みました。2006年から「国立情報学研究所」教授となり、現在は「国立情報学研究所・社会共有知研究センター」センター長および「教育のための科学研究所」代表理事・所長を勤めておられます。

2011年より人工知能プロジェクト『ロボットは東大に入れるか』プロジェクトディレクターを務め、2016年より読解力を診断する『リーディングスキルテスト』の研究開発を主導されました。

2010年に「科学技術分野の文部科学大臣表彰」、2016年に「Today Robot Project」でユネスコが後援している「Netexplo Award」を授賞され、2017年には世界的な講演会「TED」で講演されました。昨年2018年には、フランスのマクロン大統領の招待により、世界のトップ AI 研究者とともにフランスの AI 政策について進言され、また国連において基調講演を行われました。

主な著書に『数学は言葉』、『生き抜くための数学入門』、『日本を殺すのは、誰よ!』などがありますが、昨年発行された『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』はベストセラーとなり、2018年『日本エッセイスト・クラブ賞』・『石橋湛山賞』・『大川出版賞』などを授賞され、2週間ほど前にも『ビジネス書大賞』を授賞されたばかりです。

AI：人工知能の進化については「車の自動運転」など生活を便利にする様々な応用が考えられる一方、「人間の仕事が奪われるのでは」、「人類はAIに支配されるのでは」など様々な側面が取り沙汰されています。今日は新井紀子先生に「AIが大学入試を突破する時代の社会変化」との演題でお話いただきますが、どのようなお話がうかがえるか楽しみです。ぜひ、これからの社会変化を理解し、自分の進路や生き方を考えるうえでのヒントをつかんでもらえたらと願っています。



## ②. 【 卒業生(現役:33 期生)の進路状況 その3 : AO・推薦入試 】

5月29日(水)7限、3年生希望者を対象に『AO・推薦入試説明会』が実施され、昨年の出席者110名を大きく上回る、約170名の3年生が出席しました。現2年生から始まる「大学入試改革」を控え、最後のセンター受験生となる現3年生は、「早期に進路を決めておきたい」・「超現役指向」となることが予想されていますが、本校でもその傾向が覗える出席者数となりました。しかし安易にその傾向に乗ることは避けてもらいたいと思います。AO・推薦受験のメリット・デメリットを理解したうえで判断すべきです。では、今春卒業した33期生の「AO・推薦受験状況」を振り返りたいと思います。

【1】周知のように、私立大学では半数以上が、AO入試・推薦入試を経由して大学に入学しています。そのような中、千葉西高校ではこれまで約8割の生徒が一般入試で進学していました。しかし、33期生ではAO・推薦入試による進学者が大きく増加しました(下表)。

●【 大学進学者に占める受験タイプの割合 】全国(2018年入試)と千葉西高校(過去4年間)の比較

	全国	30期生	31期生	32期生	33期生
AO入試(自己推薦を含む)	10.7 %	5.5 %	8.0 %	5.1 %	9.1 %
推薦入試	40.5 %	12.0 %	14.8 %	15.7 %	19.3 %
一般入試	48.5 %	82.5 %	77.2 %	79.2 %	71.6 %

【2】AO入試では出願が1.5倍以上に増え、65%以上の合格率です。ただしこの中には複数回受験した生徒が5名おり、右下のように、同一大学・学部・学科のAOを4回受験し、4回目まで合格したようなケースもあります(実際の例です)。

### AO入試の合否内訳

	出願数	合格	不合格	合格率
32期生	24	16	8	67%
33期生	38	25	13	66%

A君 ○○大学××学部・学科	
AOⅠ期 1日目(10/6)	不合格
AOⅠ期 2日目(10/7)	不合格
AOⅡ期 1日目(12/8)	不合格
AOⅡ期 2日目(12/9)	合格

【3】指定校推薦の出願数は40名弱でここ数年、大きな変化はありません。出願が増加しているのは公募推薦です。公募推薦の出願は倍増し、合格率も大きく向上しました。

### 公募推薦の合否内訳

	出願数	合格	不合格	合格率
32期生	13	4	9	31%
33期生	27	17	10	63%

### 公募推薦 33期生の主な合格校

埼玉大学 : 1名	昭和女子大学 : 3名
東京理科大学 : 1名	日本大学 : 2名
学習院大学 : 3名	東邦大学 : 2名

33期生では埼玉大学に公募推薦(国公立大学に指定校推薦はありません)で合格し、32期生の首都大学東京に続く快挙でした。国立大学協会は『全ての国立大学で2021年度までに推薦入試、AO入試等による入学者を定員の30%まで増やす』としており、国公立大学への公募推薦やAO入試での合格のチャンスが拡がりつつあります。

私立大学では、東京理科大、学習院大をはじめとする「難関校に公募推薦で多数合格」がこれまでにない特徴でした。これまでは「一般入試でも合格できるだろう」大学に公募推薦で受験するケースが多かったのですが、33期生は果敢にも難関大学に公募推薦でチャレンジし、合格を手に入れました。

早稲田大学が、現在4割のAO・推薦による入学者を6割に引き上げる方針を明らかにするなど、難関私大でもAOや公募推薦による入学者を増やす傾向にあります。33期生のように、「志望校の選抜方法を十分に理解し」、「自分にその適性があり」、「十分に対策を取ることができ(一般入試の勉強と両立させつつ)」、何より「志望大学入学の強い熱意がある」なら、公募推薦やAO入試を受験する価値は大いに高まっています。